

自分たちが労働者の楯

第26回国労九州 JR 車掌協議会『直方いこいの村』

5月28日～5月29日、1泊2日で直方いこいの村にて車掌協議会へ参加して来ました。

参加人数24名という少数で本当に寂しくなりました。総会には、給与と費用の面で参加を敬遠する組合員が増えた。

門車10名、長崎6名、唐津2名という数少ない組合員で、協議会をこれから先、どう運営して行くかと切実な意見が多く寄せられていました。現場では、合理化で営業収益のみ考え、安全性への疑問、これから先の若い人達の労働条件悪化への心配な声が多数寄せられました。

来年は、長崎で開催です。

少ない人数ですが、一人でも多く自分たちが、労働者の楯であると意識を持って参加して頂くことを期待いたします。(秀島)



【少ない組合員でどう運営していくかが課題、西原議長の「団結頑張ろう！」】

長崎地区メーデー

5月1日・長崎地区メーデーが約300名の仲間が参加して開催された。集会後、デモ行進を行った。

1866年5月1日、シカゴを中心に全米の全労働者が、低賃金と長時間労働や悲惨な労働環境に抗議して、8時間労働を要求してストライキ決行から始まりました。その3年後にパリで開催された第2インターナショナル大会で、5月1日を全世界の労働者の統一行動が始まりました。

日本では、1920年5月1日に東京で第1回メーデーが開催されて、(途中禁止されていた)戦後1946年に復活して今日に至っている。(豊田)



【10連休中の5月1日に行なわれたメーデー】

慰霊碑清掃

5月11日、午前10時から退職者の会(幹事会)の皆さんによる慰霊碑清掃作業が行われた。地区本部からは、豊田(委員長)が参加した。今後の予定として、6月は地区本部で清掃作業を行い、7月には合同清掃が確認された。(豊田)

